

地域文化政策の未来 文化資産の活用と

シンポジウム



2009年
2月28日(土)

1号館1101教室 開始：9時30分～

どなたでもご参加いただけます。

主催：千葉商科大学政策情報学部、ヘリテージ・スタディーズ研究会

後援：市川市、市川市文化振興財団

〒272-8512

千葉県市川市国府台 1-3-1

千葉商科大学

文化政策シンポジウム 「文化資産の活用と地域文化政策の未来」

開催趣旨

近年、文化による街づくりや地域活性化が叫ばれるようになると共に、文化政策への関心が高まってきている。これまで、文化政策については、アート・マネージメントや公共政策などの側面からのアプローチが中心であり、地方自治体において歴史的な文化資産をどう活用すべきかについては旧来の文化財保護といった枠組みを超える議論はあまりなされてこなかった。本シンポジウムでは、考古学・民俗学・歴史学・政策学といった分野の研究者と、従来の枠組みを超えた歴史的文化的資産の活用を行っている地方自治体の担当者を交えて、これからの地域・自治体での文化政策（地域活性化・文化振興）における歴史的な文化資産の新たな活用法を探る。

日程

日時 2009年2月28日（土）

場所 千葉商科大学1号館1101教室（〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1）

主催 千葉商科大学政策情報学部、ヘリテージ・スタディーズ研究会

後援 市川市、市川市文化振興財団

※入場無料、事前登録不要、資料代のみ別途実費にて申し受けます。

プログラム

09:00～ 開場 受付開始

09:30～10:00 趣旨説明および歓迎メッセージ

第1部 地域文化資産の活用に向けての視座

10:00～10:20	報告1 グローバリゼーションと地域ブランド	慶応義塾大学大学院	國井彰子
10:20～10:40	報告2 地域文化政策としての「ミュージアム」観念の再生	慶応義塾大学大学院	松尾和典
10:40～11:00	報告3 場所の歴史を探る	慶応義塾大学大学院	久米舞子
11:00～11:20	報告4 観光における昔話の活用	東京芸術大学非常勤講師	加原奈穂子
11:20～11:40	報告5 メモリー・スケープによる地域文化の再構築	千葉商科大学 准教授	朽木 量
11:40～12:00	報告6 文化資産としての遺跡	尚美学園大学 教授	櫻井準也
12:00～13:00	昼食休憩		

第2部 地方自治体におけるこれからの地域文化政策

13:00～14:00	基調講演 自治体文化財政策の新たな展開	法政大学 教授	馬場憲一
14:00～14:30	事例報告1 新たな文化振興の在り方を模索する伊達市の取り組み	伊達市噴火湾文化研究所	青野友哉
14:30～15:00	事例報告2 市川市の地域文化資産活用例：街回遊展	市川市文化国際部	松田一之
15:00～15:30	事例報告3 三浦市の地域文化資産と文化財政策	三浦市教育委員会	須田英一
15:30～15:45	休憩		
15:45～17:00	討論 「これからの地域文化政策と文化資産の活用」		
17:30～	懇親会 千葉商科大学 瑞穂会館2階 多目的ホール (会費4000円、別途学割有)		

アクセス

■JR 総武線 市川駅下車徒歩20分

■駅前京成バス1番乗場「松戸駅行」「松戸車庫行」乗車、和洋女子大前下車徒歩3分

■京成線 国府台駅下車徒歩10分

